

## 仮面は「気」持ち

これほどまでに  
アフリカの仮面に惹かれ  
集め出したのはなぜ？  
よく分からないまま  
ひたすら美術館に通い  
図書館で出会い  
インターネットの画像を検索し続け  
購入もした……そして

「気」だ これらには気がつまっている  
アフリカの仮面たちは  
「気」の缶詰なのだ！

端正な顔の磨かれたバウレのそれも  
目玉の飛び出た そう長目のゲレの二口面も  
長い頭と伸びた首のボゾの夫婦  
なによりアンティロープをかたどったフルセの頭上面  
双頭のイノシシ 牙を剥いて口を開いたワニユゴも  
セヌフォの精巧な彫りの双子面  
ガーナバコタ族の丸顔ビーズ面  
ベテの重厚な彫りの深い防御面も  
ブワ族のパピヨン（蝶）の横長のそれも  
ボボ太陽マスクも  
八本の角をもつマリンケの雨乞い面も……

何度も何度も見返して 所有して触って また見返して  
少し忘れたころ また見なおして……  
そこには気持ちがある  
「気」が詰っている

自然に 動物に 人間の間への思いに 生に死に 性に 暴力に 平安に  
喜怒哀楽 に そして何より 命の中から流れてくる「気」  
それを貯め留めた 掛け替えのない 人間の創造物としての  
か・た・ち があるのだ  
流れ拡散し失せていく時間と記憶のなかで

「気」がそこには溜まっている――  
人間の無数の火種の相貌